平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡA(SeminarⅡA) 【栗延ゼミ】			授業コード	E002431
担当教員名	栗延　孟			科目ナンバリングコード	E21201
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	卒業要件として必修の科目です。				
受講心得	ゼミは発表・討論を通じて学ぶ場であり，自分の意見を持つ，そして相手に伝えることを意識的に行っていきます。そのためにも講義，グループ活動への積極的な参加を期待します。				
教科書					
参考文献及び指定図書	その都度紹介します。				
関連科目	社会福祉原論，高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，地域福祉論，社会保障論など				

授業の目的	（ゼミナールIIA・IIB共通） 本講義では，PBL（Problem/Project Based Larning）を活用し，社会で起きている課題について「目標設定」→情報収集→課題整理→解決策立案→報告（発表）→振り返りを1サイクルとして活動を行う。PBLを通じて，社会人基礎力における「チームで働く力」及び「前に踏み出す力」の修得を目指す。
授業の概要	各自情報収集をし，それぞれのプレゼンを主体として進行します。根拠に基づいて，人にわかりやすく伝える技術を獲得し，そのためにどのような情報収集が必要か，実践を通しながら学んでいきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題（予習・復習）
第 1 週 ： オリエンテーション・アイスブレイク 本講義の目的および内容等について説明する。また，履修状況の確認を行う。	予習：講義の目的等について シラバスを確認する 復習：配布資料，板書等をもと に要点をまとめる
第 2 週 ： 根拠に基づいて論を展開する プレゼンの基本的な技術について説明する。	予習：アカデミック・ライティングについて調べる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 3 週 ： PBL(Problem Based Learning) ①－1 PBLを実施するにあたって，自分が考えたい課題を絞り，情報収集を行う。	予習：自分が調べたいテーマをしぼる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 4 週 ： PBL①－2 パワーポイントの基本的な使い方を復習する。 現在の自分なりの考えをスライドとして作成する。	予習：パワーポイントの使い方について復習しておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 5 週 ： PBL①－3	

ゼミ内で，それぞれの課題と自分なりの課題解決に向けた方策を発表する（半分の人数） 聴く方は，批判的に聴き，各自意見を述べる。	予習：課題についての解決策を考える 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 6 週 ： PBL①－4 ゼミ内で，それぞれの課題と自分なりの課題解決に向けた方策を発表する（半分の人数） 聴く方は，批判的に聴き，各自意見を述べる。	予習：課題についての解決策を考える 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 7 週 ： PBL②－1 PBLを実施するにあたって，自分が考えたい課題を絞り，情報収集を行う。	予習：自分が調べたいテーマをしぼる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 8 週 ： PBL②－2 情報収集と並行しながら，現在の自分なりの考えをスライドとして作成する。	予習：情報収集を行いまとめておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第 9 週 ： PBL②－3 ゼミ内で，それぞれの課題と自分なりの課題解決に向けた方策を発表する（半分の人数） 聴く方は，批判的に聴き，各自意見を述べる。	予習：課題についての解決策を考える 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第10週： PBL②－4 ゼミ内で，それぞれの課題と自分なりの課題解決に向けた方策を発表する（半分の人数） 聴く方は，批判的に聴き，各自意見を述べる。	予習：課題についての解決策を考える 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第11週： PBL③－1 PBLを実施するにあたって，自分が考えたい課題を絞り，情報収集を行う。	予習：自分が調べたいテーマをしぼる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第12週： PBL③－2 PBLを実施するにあたって，自分が考えたい課題を絞り，情報収集を行う。	予習：自分が調べたいテーマをしぼる 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第13週： PBL③－3 ゼミ内で，それぞれの課題と自分なりの課題解決に向けた方策を発表する（半分の人数） 聴く方は，批判的に聴き，各自意見を述べる。	予習：課題についての解決策を考える 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第14週： PBL③－4 ゼミ内で，それぞれの課題と自分なりの課題解決に向けた方策を発表する（半分の人数） 聴く方は，批判的に聴き，各自意見を述べる。	予習：課題についての解決策を考える 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる
第15週： PBL②振り返り	

PBL③での発表について，それぞれ振り返りを行う。	予習：過去のプレゼンの良かった点，悪かった点をまとめておく 復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	発表に積極的に参加し，批判的な意見を述べることができる。
【知識・理解】	PBLに課題解決に必要な知識について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	発表の場において，自分の考え・意見をメンバーに伝えることができる。
【思考・判断・創造】	PBLにおいて，現状分析を踏まえ，適切な解決策を提案することができる。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**30点**		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**20点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**15点**	**15点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**20点**		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	講義でのレポートおよび講義への参加状況をもとに総合的に判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

発表・その他 （無形成果）	講義でのプレゼンテーション（PBL発表）をもとに総合的に判断します。 ［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 ［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 ［Bレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 ［Cレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。